

神無月を迎えて

分所長 高木敏彦

お彼岸を迎えてから、暑かつた日々から解放され、涼しい風が心地よい季節を迎えました。

今月の分所月次祭は第1日曜日の5日に行います。12日は綾部の綾機平にて開催される大本歌祭りに参拝をします。5日は11月9日の碧南分所秋の大祭の打ち合わせを行いますのでよろしくご参拝ください。

先月は、鈴木正勝さんが15日にお亡くなになりました。お葬式のお手伝いを頂いた方には感謝を申し上げます。今月号は鈴木さんを偲んでの追悼文を掲載しますので、皆様も鈴木さんのご冥福をお祈りください。

鈴木正勝さんを偲んで

高木 敏彦

正勝さんとの最初の出会いは、僕がまだ名古屋に居たころで、自宅のエヤコン設置をして貰つた時でした。明美さんの旦那さんとのことで女房が碧南の出でもありまたお琴をしていた縁もあり頼みました。

30年ほど前に、碧南に自宅を設けて

引っ越しをして、碧南分所に所属変更をしてから、女房の実家が分所を兼ねていたこともあり鈴木さんとよく葬祭など

のお手伝いをさせて頂いた。鈴木さんは、お棺の赤白のリボンを飾るときに、左右のどちらが赤になるかで専門的に担当をしていた。リボンの組み方が他の人がやるとうまくいかないので、苦慮していました。また、分所の大祭時には大きな鯛を飾るが魚を触ると鱗で手が汚れてしまうので、皆はあまりやりたがらないので、皆はあまりやりたがらないのに

鈴木さんは綺麗に大麻で鯛を飾つてくれた。その後の魚の捌きもお手の物でいい。刺身を、皆で頬張ったのが懐かしい。葬祭時の靈籠は鈴木さんが手作りしてくれた靈籠を使っていた。今回の鈴木さんの靈籠は自らが作った靈籠に鎮まっている。きっと安らかに五十日祭を迎えてくれるものと思つてごる。

藤浦 直

鈴木さんは、三河本苑での祭式講習会によく一緒に参加しました。特に、警蹕には「」がよ」とか悪いとか厳しく指摘されていました。また、信徒の方が亡くなられた時には、葬祭の翌日には新しい靈籠を作り、準備をして頂きました。

烟の松から落ちた松ぼっくりから松の苗を育て神様、祖靈様用の花松を作つてました。信者さんの葬祭にはいつも鈴木

さんに連絡をして一緒に出掛けた」とを思い出します。
お亡くなりになり淋しい限りです。

主な行事予定

10月5日(日) 午後1時半より
碧南分所月次祭 担当第1班

10月12日(日) 16時30分開始
歌祭り 綾の郷にて

10月18日(土) 午後7時半より
靈界物語全国一斉拝読会

10月19日(日) 午前10時より
三河本苑大祭・秋季合同慰靈祭

11月2日(日)
開祖大祭

11月9日(日) 午前10時半より
碧南分所秋の大祭・合同祖靈慰靈祭

11月16日(日) 午前10時より
三河本苑月次祭

10月の誕生者
おめでとうございます！

澤田多鶴子 2日 坂部彰紀 4日 鈴木勝一郎 5日 岡本眞 14日 澤田鼓太呂 19日
榎原武彦 20日 栗津誠 24日